

福祉の祭典 健康福祉まつり開催

いいたてホームのお年寄りたちも祭りを楽しむ



▲お年寄りたちも楽しそうでした



7月20日、第9回健康福祉まつりがいいたてホームとなりの「いちばん館」で行われ、お年寄りや親子連れなど約600人が年に1度の健康と福祉の祭典を楽しみました。真夏日となったこの日、模擬店やバザーのテントが立ち並ぶ会場では、保健相談や福祉機器の展示、老人作品展、ジャンケン大会、大ビンゴゲーム大会、老人クラブ対抗大玉



第1回みんなの広場

ほのぼの子育て事業

ころがし大会など様々な催し物が行われました。会場を訪れた人たちは、イベントに参加したり模擬店で買い物したりして、年に一度の健康と福祉の祭典に楽しい一日を過ごしていました。また、いいたてホームのお年寄りたちも車いすでお祭りに参加し、かき氷を食べたり大玉転がしを応援したりと祭りを楽しんだ様子でした。

6月30日、ビレッジハウスにおいて、「第1回みんなの広場」が行われ、20組の親子が絵本の読み聞かせを聞いたリ、おもちゃ作りにチャレンジしました。

この事業は、今年3歳5ヵ月児健診に該当するお子さんとその兄弟・親を対象に行われているもので、この日は、「おはなし会」の長正サツキさん（大久保）、石井せんさん（白石）、鈴木美智子さん（上飯樋）の3人が、絵本の読み聞かせや人形劇をしたり、おもちゃ作りの指導を行いました。

参加した子どもたちは、読み聞かせや人形劇「三匹のこぶた」に興味深そうにじっと見入っていました。また、輪ゴムを使っておもちゃ作りでは、ぴょんぴょんと飛び跳ねるおもちゃに歓声をあげながら楽しんでいました。帰りには、村からプレゼントされた本の森チケツトをお気に入りの本と交換していました。



▲家庭訪問のようす〔だっこされているのが
今回誕生日を迎えた佐藤道也くん(伊丹沢)〕

1歳お誕生訪問が始まっています

子育ての悩み聞かせてください

村では、1歳のお誕生日を迎えた幼児の保護者を対象に、子育てについての相談を受けるお誕生訪問を行い、手作りの誕生カードとお祝いの品をプレゼントしています。

この訪問は、幼児を持つ若いお母さんから離乳食についての相談を受けることが多いこと、また1歳6ヶ月児以降もほ乳瓶を離せない幼児が多かったことから、親の子育てや離乳食への悩みを聞き、アドバイスをしようと今年から始まったものです。

訪問では、スムーズに離乳できない原因を知るためにアンケート調査をしたり、離乳食以外にも子育て中の悩みについて相談を受けたりして、母親が生き生きと子育てができるための支援をしています。

お誕生訪問は、毎月、1歳の誕生日を迎えるお子さんの家庭を訪問する予定です。

これは、同大学看護学部の学生が、地域で行っている高齢者福祉について学ぼうと行ったもので、齋藤さんは飯桶4区で行っているミニデイサービスを立ち上げるまでの経緯や現在のうごきなどを、ユーモアを交えながら話していました。

学生たちは、体験談を交えた齋藤さんの話に真剣に聞き入っていました。

6月25日、齋藤多喜夫さん(飯桶町)が福島市の福島医大で講師を務め、高齢者福祉についての講話を行いました。



▲ミニデイサービスについて話す齋藤さん

齋藤多喜夫さんが
医大で講話

旬の食卓 ちょこっと作ってみよう

○夏の野菜は火を通してスープや煮物などにすると、冷えを抑え血液の流れを良くするなどの効果があります。夏の疲労回復には豚肉も効果的です。あっさりとした料理で夏に負けないようにしっかり食べましょう。

◆夏野菜のみそ煮(和風ラタトゥイユ)◆

・材料(4人分)

- ①トマト……………大2個
- ②ナス……………3本
- ③ピーマン……………3個
- ④玉ねぎ……………2個
- ⑤にんにく……………2かけ
- ⑥青しそ……………10枚
- ⑦ベーコン……………5枚

・調味料

- サラダ油……………大さじ1
- みそ……………60g
- 塩・ほんだし……………少々

◎作り方

1. にんにくはみじん切り。その他の材料は乱切りに。
2. 鍋に油とにんにくを入れてから火をつける。
3. にんにくの香りがでたら火を止めて、他の材料を加えて炒めておとしふたをして煮る。
4. 沸騰したら、弱火にしてみそを加え、塩で塩分の調整をする。(あまりかき混ぜすぎない。)

◎好みにトウバンジャンを加えて辛味をつけてもいいです。

はポイントです!!

